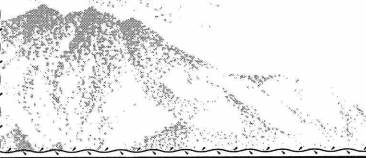


雄峰の由来

「風雪に耐えた高峰は
雄大で気品と自信に満ちている」



雄峰

第171号

編集・発行 PTA広報部
鹿児島市郡元一丁目20番35号
令和7年3月3日



入学式



2年次の文化祭



最後の運動会

出会いは宝

「卒業生の皆さんへ」

PTA会長 金木 詔子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響でマスクを着用しての入学式、緊張しつつも附属中学校での生活に大きな期待を膨らませている皆さんの目が輝いています。皆さんは今鮮明に覚えていきます。皆さんはどのような思いをもって附属中学校を巣立っていかれるのでしょうか。

中学校生活の三年間は、長い人生の中でもとても短い時間にも思えます。しかし、大人になつてみると、こんなにも充実して有意義な時間はそうあるものではありません。皆さんは勉強、部活動、生徒会活動、学校行事など何事にも真剣に全力で取り組む、素晴らしい行動力で大きく成長してこられました。その中で多くの仲間達や先生方と共に過ごしてきた実り豊かな時間は、今後の皆さんの人生において大きな力となるでしょう。

「静思」
「勉強の価値」



教頭

東 佑樹

三月に入り、卒業や修了を迎える時期となりました。令和六年度、あなたは悔いなく全力で「勉強」できましたか。多くの大人が、「若い時にもっと勉強していれば良かった。」と言っています。私も同じ思いです。そして、今、自分の将来像を描けずにいる人こそ、勉強してほしいと思つています。勉強は、未来の選択肢を増やしてくれるものだから。

私たちは、「勉強」と聞くと「学問や技芸を学ぶこと」をイメージしがちです。しかし、勉強が未来を切り拓く手段であると捉えてみると、あなたの努力や経験、感情、さらには失敗や挫折までもが、自分の未来を切り拓く大切な「勉強」であることに気がきます。勉強はこれからも続き、その成果はあなたの未来で必ず発揮されます。「勉強」を重ね、心豊かな人生を歩んでください。

3年生の皆さんの新たなスタートを応援しています

卒業生から

私立高校入試が迫る1月下旬、昨年附属中を卒業した先輩方が3年生の各クラスに集まり、黒板に合格祈願のメッセージを書いてくれました。黄色いチューリップの花束も卒業生からの贈り物。先輩から後輩へ“頑張れ”の思いを形にするこの良き伝統は約三十年前から引き継がれています。



壁画制作

1・2年生全員から3年生に贈る壁画（モザイクアート）は、1cm×1cmのピースを252,000枚つなげて作り上げます。これまでの感謝の思いを込めて制作中です。

「さよならに代わる言葉を僕は探してた」

三年学年主任 榎 隼弥

みなさんにとって、附属中の三年間はとうとうでしたか。黄信号のように、左右を確認しながら恐る恐る、でも「澟刺」と歩んだ一年生。赤信号のように、突っ走りたい思いを一度立ち止まり俯瞰して、「颯爽」と前に進んだ二年生。青信号のように、自分の「生き方」に向き合って、「凜」とした姿で走り抜けた三年生。最後の学年集会で三年間を振り返り、思い出のあるたくさんの方をみんな肩を組んで歌い、「凜」と輝くあなたたちを見て、旅立ちのときが近づいてきたと感じました。

卒業式の日にあなたたちに求めるものはただ一つ。「三年間の成長した姿が伝わる『はい』の返事をしてほしい。」

今、みなさんの「凜」とした姿を見ていると何も心配していません。きっと素晴らしい『はい』の返事を聞くことができるでしょう。卒業式を楽しみにしています。

五年前、三年担任をしていたとき、私の学級の自由曲はスキマスイッチの「奏」。その歌詞の一部に「さよならに代わる言葉を僕は探してた」とあります。最後に、みなさんにさよならに代わる言葉を送ります。「二十歳の集いに百七十八人全員で会いましょう。」

卒業する3年生に「なりたい自分～夢・希望・職業etc～」についてアンケートを実施し、近くで見守ってきた3年部の先生方から「挑戦する君にエールを！」をいただきました。

3年1組



担任 前園 清幸先生
何事も熱量。
「青き炎」を燃やせ!

副担任 森 健太郎先生
「人の夢は終わらねえ!」
夢を描き続けよう!

松元 稟々音
多くの人を助けることができる弁護士

西崎 龍之介
新しいことを開発・解明・発見することに献身する科学者

宮路 仁香
少しでも人を笑顔にできる薬剤師

西元 健悟
観ている人の不満を消し飛ばすほど面白い動画投稿者

山田 篤実
海底に都市をつくる人

堀之内 航太
強い馬を育てる厩務員

学級目標

先陣を切って壁を乗り越え
限りない愛と笑顔で輝く学級

川畑 珠奈
人を笑顔にできる医療系の仕事

安樂 俊亮
困っている人に寄り添うことのできる内科医

北園 ありあ
法律によって被害者を救う社会正義を持った検察官

稲田 さくら
人と接し、人のためになる職業

兒玉 怜依
人々の健康をサポートする薬剤師

大迫 洋哉
お客様と一緒に建物という宝物を作る建築士

山田 顕信
人の夢を育てる教師

前原 潤世
より選手に寄り添っていけるような、スポーツに関する職業

内藤 綺咲
困っている人の助けになれるような薬剤師

伊達 彩乃
患者さんを助ける、心の強い医療従事者

高野 吾樹
音楽で人を感動させられる人

佐々木 結衣
周りを見て誰かのために動ける人

近藤 巧
附属中の先生のような、みんなを明るくしかり指導できる教師

尾上 哉大
人々の思い出に残るような車をつくるエンジニア

米倉 真晶
患者の意思に沿ってあげられる医師

松永 樹奈
患者に優しくして、安心させられる医師

永井 美帆
患者から感謝される医師であり、小説家

田中 理央
選手に勇気を与えるスポーツドクター

武田 竜之介
日本の農業の生産性を上げる農家

新福 夏向
住みやすい家を設計する建築士

坂元 佑衣
素敵な旅へ招待できる、責任感のある航空管制官

片岡 滯那
誰にでも優しく、相談しやすい養護教諭

渡邊 李胡
先端技術を海外で学び、日本の人々に還元できるような医師

松元 美心
患者に優しく寄り添える看護師

斜木 心結
沢山の人を笑顔にできる優しい人

寺本 行臣
健康な体を持つ、真面目な人間

田嶋 竜之介
北海道で酪農を支えつつ、のんびり暮らす獣医師

杉本 航介
テレビで、一生懸命、視聴者に天気を伝える気象予報士

崎元 義心
予測不能な社会にも対応できるシステムエンジニア

川畑 心旺太
優しく頼りがいがある海上保安官の潜水士

3年2組

担任 遠矢 圭祐先生
「品格」は「音」にあり。
常に美しき「音」を。

松元 ひなた
五か国語以上話せるパイロット

久永 ひまり
笑顔にするテレビをつくるテレビディレクター

森 祐二郎
人の役に立てるロボット開発者

富加見 舜
病気などで困っている人に寄り添える医師

山口 怜子
人々の生活を豊かにするクリエイター

福田 修大
選手に寄り添えるスポーツ整形外科医

山中 玲愛
ひたむきに追究し続ける気象予報士

本坊 真瑚
たくさんの人の命を助ける薬剤師

山本 創士
自分の興味とことん追究する数学者

前岡 咲彩
他人を笑顔にできるような明るい人

汰木 大知
自分の得意を活かせる技術者

松田 日真莉
周りから信頼される皮膚科医



学級目標
揺るぎない情熱を胸に躍進し
向上心をもって行動する学級

西 咲桜
人の心に寄り添うことができる人

中村 虎太郎
どんな病気や怪我也も治せる医者

趙 晟榮
いつまでも元気なかつこいい教師

園田 恭之
確かな技術をもった売れっ子医師

迫 優利
圧倒的を作り続ける宮大工

内山 諷徠
困っている人を助けられる優しい検察官

東 桃華
沢山の人を笑顔にできる化粧品開発研究者

中村 大胡
思いやりの心がある人

東郷 咲和
ワクワクするコスメをつくる化粧品開発者

田嶋 蒼之介
夢を叶えたあとも頑張れる旭化成の社員

佐藤 優由
努力と笑顔を決やさないCA

上川 みはや
みんなを笑顔にすることができる公認心理師

東田 麗加
患者を安心させられる小児科医

名越 颯
安全運転で乗客の頼りとなる運転手

中川 涼音
選手を一番に考えるスポーツトレーナー

谷口 絢子
好きな特技で安定した生活を送れる職業

嶋田 瑛文
患者に優しく、適切に治療することができる医師

久保田 和緒
人との繋がりを大切にしている経営者

副担任 吉原 萌子先生
幸せはいつも
自分のところがきめる

熊谷 光惟
脳細胞の研究をする医学者

赤瀬 安寿咲
人を笑顔にすることができるような音楽家

久米村 悠生
人々を笑顔にする皮膚科専門医

一美 佳子
患者さんを思いやることのできる医師

小谷 哲也
未来を作り創造するエンジニア

上之園 大悟
お客様の要望に答えられる不動産屋

3年3組

担任 小笠原 淳先生
良いときはもちろん、
悪いときも楽しめる人に。

安田 怜央
誰にでも優しくでき、優しくされるような人

久留 千穂
人の笑顔を増やすことのできる医療従事者

吉井 貫汰
消費者側に寄り添い貢献するオーナー

久野 志織
経済の健全な発展を支える公認会計士

吉元 一博
適切な医療を提供できる医者

福満 心
父のようにかっこいい医療従事者

米森 文音
どんな小さなことにも全力で取り組む人

本馬場 晴哉
広い視点で物事を見れる医師

渡邊 娃子
常に探究心を持ち、人を笑顔にする人

松田 梨愛
患者さんに親切に寄り添える臨床検査技師

水清田 和寿
苦しむ人、辛い人に優しく寄り添う医者

瀧田 真立
人のためになれるいい人



学級目標
誠実に前進し続け
周囲を巻き込んで向上する学級

野村 朋世
たくさんのひとを笑顔にする病院薬剤師

中堀 晴貴
個性的なサイエンティスト

寺本 行君
「努力」して、物事を掴み取る社会人

叢 睿初
医者や大学教授のような学んだことを生かせる仕事

城山 恒治
フレンドリーで頼りがいのある教師

有村 絆那
自分の仕事に責任を持つ助産師

萩原 奈々
誰かに寄り添えるような支えになれる人

中村 華子
見返りのない親切ができる人

長崎 慎之介
人を笑顔にできるような絵師

高井 絢禾
新しいことに挑戦し続ける食品経営者

桑原 愛子
病気を治し患者を笑顔にできるような医者

岩切 正音
患者さんの支えになれる理学療法士

西川 結貴
いつも冷静で優しい歯科医師

中澤 秀春
町や人を安全・安心にしている警察官

多田 直
より多くの人を助けられる医者

杉元 佑成
海外で活躍する仕事

岩下 莉李花
周りに優しくできる人

副担任 榊 隼弥先生
念ずれば花開く

上園 悠太
住む人たちの役に立てる地方公務員

秋元 世奈
思いやりをもって母子に接する産婦人科医

上ノ園 花
やりたいこととやるべきことをしっかり区別する人

荒田 琴羽
患者さんやその家族を笑顔にできる医師

鶴川 海
自分の仕事の質に自信を持てる自営業者

有川 愛絆
周りの人を助けることのできる、余裕のある大人

3年4組

担任 町田 康佑先生
笑顔!真顔!どや顔!

副担任 榊 隼弥先生
自分らしい「生き方」を!



袁茂 笑凜
仲間と協力しながら誰かのためになる仕事に就くこと

濱崎 智
動物のことを考える獣医師

宮崎 智生
顧客のニーズに合わせた建築物を建てられる建築家

平山 碧惟
人望があり、周りの人から信頼される人

柳田 優花
人と幸せを共有できる心理士

福迫 あや
患者の支えになるような薬剤師になること

学級
目標

互いに意思を尊重し
今を円熟させる学級

黒崎 慶志
周りから慕われるような医師になること

金木 宗汰
リーダーシップがあり、人に好かれる人

築詰 修成
患者を安心させるような医者

福島 一博
人の助けになれる医者

富川 遼太郎
印税がものすごいシンガーソングライター

高 恵実
人と人をつなぐことができる通訳士

瀬筒 遥斗
患者さんに寄り添い、信頼される医師

白坂 梨乃
周りの人を大切にできる優しい人

後藤 日和
いろいろな国の人と笑顔で接することができるCA

川内 蘭菜
当たり前を当たり前に行っている誠実な人

山崎 蒼太
周りから好かれるような普通の人

増森 奏太
日本の素晴らしさを伝えることができる伝統工芸士

富安 春希
子どものことをよく考え、役に立てる、信頼される小児科医

高橋 杏
冷静に指示を出せる航空管制官

曾山 真歩
どんな環境でも患者を救い、地域に貢献できる医師

新中須 結月
周りの人から好かれる幼稚園教諭

小林 悠平
人生最後に自分になりたいと思う姿になること

川畑 滯
誰かに夢や希望を与えることのできる総合演出家

山元 詠美理
傷ついた人や悩みを抱える人を救う心理カウンセラー

松永 暖洸
沢山の動物を笑顔にできる獣医師

夏迫 瑛
人望のあるサラリーマン

泊 和秀
平等に接せられる医療関係者

高城 栗紅
生徒に寄り添える保健室の先生

新村 愛佳
多くの人の心の負担を軽くできる精神科医

重島 生汰
患者のことを一番に考える医者

木下 陽葵
人に笑顔を与えられる仕事

3年5組

担任 永峯 枝里子先生
歯をくいしばりなさい。

副担任 立野 貴大先生
努力は運の幅を広げてくれる。



望月 尚央
幸せな家庭をもつサラリーマン

春園 心音
メリハリをもって行動できる人

元田 裕士
人を気遣うことのできるサラリーマン

平野 航太郎
どんなことから学べる優しい人

森 慶太郎
新たなシステムを作るエンジニア

深田 琥太郎
動物の素晴らしさを伝えられる人

学級
目標

愛と努力を積み重ね
最高到達点へ駆け抜ける学級

黒木 清士朗
人の役に立つことができる人



栗田 未来
生徒に寄り添える優しい教師

池之上 かりん
商社で働いて生活を豊かにできる人

小瀬戸 咲希
患者さんの気持ちに寄り添える医師

岩元 律
夢を夢で終わらせない人

森川 結月
自信を持って他人のために行動できる人

宝来 美咲
患者さんに寄り添って適切に治療する医師

中村 有希
自分の明るさを生かせる人と喋る仕事

永井 海翔
多くの人を救える医者

高羽 空来
ガンが治せる医者

下田 桃子
楽しく海外で働く人

坂元 陽人
魅力ある中学校の社会科の教師

上野 友菜
気軽に話したり、相談をしたりできる学校司書

森田 鳳介
どんなことにも精一杯楽しめる人

松尾 美うみ
人を感激させられる人

野尻 明音
音楽を楽しませられるような音楽の先生

長田 珠那
笑顔をおぼれない教師

泊 あつの
沢山の人の笑顔にすることができるインテリアデザイナー

白川 愛里花
日本の治安を守る入国審査官

塩崎 杏
平等な取引を推進する公正取引委員会審査官

上原 康士朗
継続して物事に取り組める人

向井 奏人
子どもに優しく、安心感を与えられる小児科医

早水 祐敢
生活が安定するようなIT企業の社員

永野 厚宏
国民を公正公平な判断で裁く最高裁判所長官

豊川 寧々
的確に判断し、どんな命も救う救命医

菅 聡二郎
どんな人にも力を付ける数学の講師

下窪 健心
いろいろな資格を持つ人

岡村 菜々子
妊婦さんを全力でサポートできる産婦人科医

総務部

PTA副会長 岡部 高之資

附属中学校、先生方、子どもたち、保護者の皆様の何か役に立てればと思ひ活動してまいりました。役に立てたという実感はありませんが、常に学びの場をいただき、皆様方に感謝しております。附属中学校は全ての活動において伝統を重んじながら現在の学校、社会環境などの変化に対応するべく、皆様方が真剣に考え、いま、明日のために行動されています。今年も現状の問題点などを考えながら、他の国立学校のPTA役員の方々との意見交換など活発にさせていただきます、有意義な経験をさせていただきますました。皆様方に感謝申し上げます。

PTA副会長 高 智子

本年度もPTA活動にご協力をいただき、ありがとうございます。今年度もPTA活動に準備を行ってきた九附属鹿兒島大会も無事に終えることができました。この春で卒業ですが、役員の方々の活動を通して貴重な経験をさせていただきました。学びの機会をいただきましたことに感謝いたします。至らない点も多々あったかと思

いますが、皆様のご理解と力強いサポートのおかげでどうにかここまで務めることができました。御礼申し上げます。

学年部

三学年委員長 北園 真由美

鮮やかに記憶に残る生徒会長の力強い挨拶に、胸が高鳴った入学式から早三年。PTA活動では、力不足ではありましたが、成長を間近で見守りながら、共に喜び、悩みを分かち合う貴重な経験をさせていただきました。コロナ禍を乗り越え、たくましく成長した子どもたちの無限の可能性を信じサポート、熱くご指導してくださいました先生方へ心から感謝申し上げます。これからも附属中学校の益々の発展を祈念しております。

二学年委員長 小森園 智美

先輩としても後輩としても役割を担い、多くの場面で様々な立場に立たされた子どもたちが、エネルギーに挑戦をし、成長していく姿を私たちに見せてくれました。

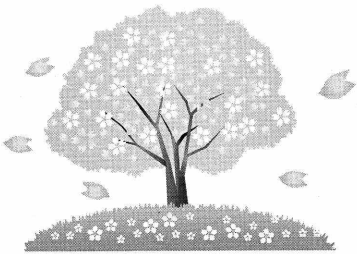
子どもたちの人生の中で貴重になるであろう一年間を心を尽

くして支えてくださった先生方をはじめ、PTA活動にご理解とご協力を賜りました保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

一学年委員長 江川 さおり

期待を胸に入学してから一年が経とうとしています。少し成長した子ども達は、二年生に向けて共に切磋琢磨し、充実した毎日を過ごしています。附属中の朝は、門礼で場への敬意を払い、自分を律することから始まりま

す。これからも、規律や礼節を重んじつつ、未来を生き抜くための先進的な教育により子どもたちが成長していく姿が楽しみです。最後に、温かくご指導いただいた先生方、PTA活動をご支援いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。



専門部

研修部長 崎元 有香

研修部は、今年度のテーマ「子どもの自立を支える家庭の在り方」に基づき活動してまいりました。

研修視察は鶴丸高校、鹿兒島中央高校へ訪問させていただきました。教育講演会は「スマホ、ネットの使い方に関するご家庭での指導」を演題にご講演いただきました。

これらの活動が、ご家庭においての会話のきっかけになれば幸いです。

今年度も先生方、会員、部員皆様のご協力のもと、活動が円滑にできましたことを心より感謝申し上げます。

保健生活部長 川越 聡子

今年度は、学校保健委員会のテーマを「親子で取り組む附中生活く学校内外での安全について」と設定しました。それに基づいて、登下校時の安全に関するアンケートを実施し、各家庭で災害時への対応や公共交通機関での過ごし方の確認をしていただきました。また、安全かつ健康な学校生活が送れるよう校外補導、各種会議参加を行っ

てまいりました。これらの活動が子供達の健やかな成長と安全を見守る一助となれば幸いです。ご理解、ご協力をいただきました先生方、保護者の皆様、部員の皆様に心より感謝申し上げます。

広報部長 細山 佳奈

今年度は「心こそ大切な力」守りゆく伝統と変革へのチャレンジ」のテーマのもと、読み応えのあるPTA新聞「雄峰」をお届けすることを目指して取り組んで参りました。

「雄峰」を通して、学校での子どもたちの様子や先生方の考え、思い、日々のご尽力など、普段知ることのできない附属中のことを、限られた紙面の中でいかにうまく伝えるかを考えながら、部員の皆さんと紙面づくりに頑張って参りました。無事に今年度最後の「雄峰」を発行することができ、ほっと胸をなでおろしているところです。

お忙しい中、原稿執筆や写真提供をいただいた皆様、一緒に紙面作りに取り組んだ部員の皆様、PTA新聞「雄峰」の作成に関わってくださいましたすべての方に、心より感謝申し上げます。



研修部

教育講演会 令和6年11月25日(月)

「スマホ、ネットの使い方に関する御家庭での指導」

講師 鹿児島大学 法文教育学域教育学系 教育学研究科

助教 高瀬 和也 氏



一人一台端末の環境になり、子どもがインターネットに触れる機会はますます増えています。それと同時に、インターネット・SNS上において多様なトラブルも発生しています。このような環境の中、スマホやインターネット等をどのように使っていけばよいか、皆様よりいただきました事前質問をもとに高瀬先生に分かりやすく講演していただきました。参加された保護者の皆様は、深く興味をもち、傾聴したり、周りの方と活発に意見を交換をしたりしていました。

メディアに関する様々なリスク

子どもをとりまくインターネット・SNSに関して「悪口・いじり」「長時間利用」「不適切サイトの閲覧」など多様なトラブルが発生し得る。

家庭で指導をするためにまず、情報モラルを守ることの大切さを確認し、さらにリスクの分析、発生頻度や大きさ、評価を行い、どう対応するのかを考える。

リスク対応の方針

A) コミュニケーションのトレーニング

不適切な情報を送る・発信することで起こるトラブルの回避にはコミュニケーションが重要である。

ネットでは、相手の気持ちを汲み取りにくく、より誤解が生じやすい。人によって感じ方は違う。何が嫌な言葉、嫌な行動になるのか、カード分類比較法を用いて議論する体験等を積んで、自分と他人の基準の違いや認知のずれの自覚化を促すトレーニングが必要である。

B) フィルタリング等の設定確認

不適切な情報を受け取る・見ることでトラブルが起こり得る。トラブルを未然に防ぐための知識を情報セキュリティ教育で学ぶ。

ホームページのURLの「https」はデータが暗号化されるのに対し、「http」はデータが暗号化されないため、情報が盗まれてしまう恐れがある。

鹿児島県青少年保護育成条例で、保護者へのフィルタリングの努力義務が制定されている。購入した時は設定していても、途中で外してしまい、非設定の状況も見られる。年齢など考慮し、段階的なフィルタリングサービスを活用していく必要がある。

国内で販売されている家庭用ゲームソフトの表現内容により、対象年齢等を表示した制度（CEROレーティング）も参考にするとよい。

C) ルールの工夫

不適切な使い方・管理をすることで起こるリスクを防ぐためにルールの工夫が必要である。

家庭で設定されたルールが「遅い時間に、人へ連絡しない」等の表現が抽象的なため、人によって解釈が異なり、スローガ的なものになっている場合がある。

ルールの3つの機能として①「やってはいけないこと」の共有、②正当な言い訳、③罰則を与える際の根拠がある。スローガ的なルール作りを推奨する前に、なぜそのルールが必要なのか、

ルールの内容は曖昧になっていないかを考えさせる。また、ルールを作成して終わりではなく、そのルールを守るための工夫を考えさせることも大事である。

親子で一緒に考えることによって「他律」から「自律」を促していく。

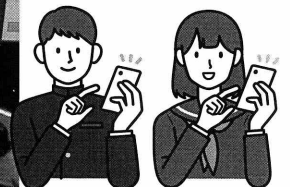
まとめ

言語能力と情報活用能力が基盤となっていく時代だからこそ「情報モラル」が大切である。

メディアとの付き合い方に関して家庭でのルールは一度作成して終わりではなく、年齢や利用状況など状況の変化に伴い、見直しの必要がある。その際、親子で一緒にルールを守るための工夫を考えるとよい。

アンケート結果から

- ネットに対して知らない知識も多く、親として責任を持って理解しなければと感じました。
- スローガ的なルール作りをまさにしており、全く効果がなかったので、ルールを守るための工夫を子どもと一緒に考えていきたいです。
- 感じる物差しが他人とは違うことや、もしかしたら自分も無意識のうちに他人を傷つけているかもしれないという認識は、いつも心に留めておきたいと思いました。
- フィルタリングの設定を子どもの成長に合わせて、上手に使っていきたくと改めて考えるきっかけとなりました。
- スマホの使い方について悩んでいたのが、講演の内容をもとに子どもと話し合い、よりよい使い方ができるようになりたいと思います。大変参考になりました。
- 分かりやすい内容で周囲の保護者同士でディスカッションする時間も多く、楽しく意見交換することができました。最後まで興味深く、有意義な時間を過ごすことができました。



保健生活部

第2回学校保健委員会 令和7年2月7日(金)

今年度は鹿児島県健康教育研究大会と重なったため、誌上報告で行われました。

【令和6年度学校保健委員会テーマ「親子で取り組む附中生活～学校内外での生徒の安全について～」】

7月22日実施のアンケート結果 (対象者：本校保護者)

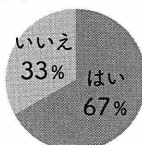
ア 災害が起こった際の下校手段や待ち合わせ場所を、家庭で決めていますか。



【ア、はいを選んだ保護者の回答例】

- ① 徒歩で帰宅し、家の近くの小学校や避難所へ向かう。
- ② 学校にいる場合は、学校に待機し、迎えを待つ。
- ③ 保護者の職場に行く。
- ④ 災害の種類や状況に応じた待ち合わせ場所に行く。
- ⑤ 連絡手段を確保しておく。

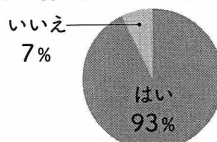
イ 不審者に遭遇した際の対応について、親子で話をしていますか。



【イ、はいを選んだ保護者の回答例】

- ① その場から、すぐ逃げる。
- ② 大声を出したり、防犯ブザーを鳴らしたりする。
- ③ 周りの大人に助けを求める。
- ④ 人通りの多い場所や店に避難する。
- ⑤ 不審者から距離をとる。
- ⑥ 「いかのおすし」を守る。

ウ 公共交通機関利用時や徒歩通学中のマナー、安全について、親子で話をしていますか。



【ウ、はいを選んだ保護者の回答例】

- ① 街灯があり、人通りの多い道を歩く。
- ② 交通ルールを守り、安全確認をする。
- ③ 電車やバスの中で静かにし、鞆や傘が周りの人に当たらないようにする。
- ④ 慌てずに時間に余裕を持って行動する。
- ⑤ 公衆電話の使い方を知っておく。

令和6年度 西地区学校保健研究協議会 令和6年11月13日(水)

西地区研究テーマ「生涯にわたり、心豊かに健康な生活を送ることができる子どもの育成」
武小学校の研究テーマである「生涯にわたり主体的に健康な生活を送ろうとする子どもの育成～健康な心、丈夫な身体を育むために～」の実践発表や日本ベップトーク普及協会 川添まり子氏による「からだ元気!こころ元気!子どものやる気を育む『言葉の力』」について講話がありました。

子どもがやる気になる声掛けをする上での言葉の変換(例 失敗した→改善点が見つかった)について学び、「言葉の力」の重要性を感じました。

第60回 鹿児島市学校保健フォーラム 令和7年1月16日(木)

鹿児島市立坂元中学校による「生涯を通して『こころ』を大切にできる生徒の育成を目指して」の実践発表や、臨床心理士・公認心理師 佐々木浩介氏による、「子どもの心のSOSの受け止め方」について講話がありました。

長期休み明けの子どもの様子に変化がないかよく見て、子どもが出しているSOSがあれば、見落とさないように気をつけようと思いました。また、何か気づきがあれば、子どもの話に耳を傾け、自分の意見は後回しにし、子どもの気持ちを尊重し、子どもの意見を否定しないことを心がけようと思いました。

第21回 鹿児島県健康教育研究大会 令和7年2月7日(金)

大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 八十島安伸氏による「好き嫌いをサイエンスから捉え直す」について講話がありました。教授の講話の中で「先天性の好き嫌いは本能的防御反応の一種なので認めてほしいということ。味覚の感受性はそれぞれで多様性があること。味覚嫌悪学習は無理強いしないこと。味わうことの反復や楽しむことを親子で共有すること。生活全般の健やかさを大切にすること。」等のお話があり、講話を通して食わず嫌いの子どもの気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶことが出来ました。



全国中学生人権作文コンテスト

鹿児島県人権擁護委員連合会長賞
三年 木治屋和愛

【数学】

算数・数学の自由研究作品
コンクール
特別賞 三年 山本 創士
県統計グラフコンクール
入選 三年 児玉 怜依

【理科】

鹿児島県標本展
植物の部 県知事賞
二年 大平 颯知
岩石の部 県教育委員会賞
二年 永田 題楚
貝の部 県教育委員会賞
一年 永井 利弥
昆虫の部 県教育委員会賞
一年 佐々木咲綺

【国語】

鹿児島市「中学校生徒弁論大会」
優秀賞 三年 池之上かりん
少年の主張鹿児島県大会
優良賞 二年 大塚 菜々
J A 共済作品コンクール 書道(菜穂)
金賞 一年 王子田 駿
南九州市かわなへ青の俳句大会
特選 一年 内藤 雄晟
県児童生徒作文コンクール
特選 三年 北園ありあ
二年 大塚 菜々
一年 永井 蒼士

【英語】

全国小・中学校作文コンクール
都道府県審査会
最優秀賞 三年 曾山 真歩
全国「小さな親切」作文コンクール
入選 一年 徳田 妃

【美術】

鹿児島県国画作品展 中央審査
入選 一年 前田 唯碧
県市議会議長会会長賞
二年 福永 喜大
南日本放送賞
三年 上原康士朗
障害者週間のポスター
最優秀賞 一年 内藤 雄晟

【部活動】

運動部・同好会等

(陸上競技部)
全日本中学校通信陸上競技大会
女子共通一〇〇M H
第六位 三年 中川 涼音
男子共通走り幅跳び
第四位 三年 福田 修大
鹿児島県中学校総合体育大会陸上競技
男子共通二〇〇M
第一位 二年 細山 遥斗
女子共通一〇〇M H
第八位 三年 中川 涼音
男子低学年四×一〇〇M R
第二位 二年 喜井 寛之
西本 航希
一年 上野 新清
男子共通四×一〇〇M R
第二位 三年 福田 修大
黒木清士郎
嶋田 瑛文
細山 遥斗
九州中学校陸上競技大会
男子共通四×一〇〇M R
第四位 三年 福田 修大
黒木清士郎
嶋田 瑛文
細山 遥斗

(ハンドボール部)
市郡総体ハンドボール競技
男子団体 第三位

(水泳同好会)
市郡総体水泳競技
男子一〇〇M 平泳ぎ
第三位 三年 前原 潤世
女子一〇〇M 平泳ぎ
第二位 二年 橋口 愛翔

(柔道部)
市郡総体柔道競技
個人戦女子四〇kg級
第二位 二年 高橋 小春
個人戦女子四八kg級
第二位 三年 春園 心音

(野球部)
米ノ津旗争奪中学校野球大会
南薩ヒクトリースカップ
準優勝
優秀投手賞 二年 柚木崎裕太
秋季北薩中学校野球大会
準優勝

(卓球部)
中学生シングルスリーグ卓球大会
二ハート女子シングルス
第一位 二年 竹之内莉奈
バタフライ・チームカップ
中学男子Ⅱ部 第二位
中学女子Ⅱ部 第三位
ジュニア夢プラン県小学生・中学生卓球大会
C級男子シングルス
第一位 二年 吉國 幹倅
中学生シングルスリーグ卓球大会
六ハート女子シングルス
第一位 二年 木場 南瑛

(バドミントン部)
鹿児島市中学生バドミントン
初級者交流大会
男子団体戦Bゾーン 優勝

※紙面の都合により全ての人賞者を掲載することはできませんが、多くの生徒が素晴らしい成績を取っています。おめでとうございます。

先生の中学時代!

私の原点



一年五組副担任 永田 恵

タイムマシーンはないけれど、四年に一度、中学生の自分に戻れる日がある。

私は、十五年間の一貫教育の学校を卒業した。と言っても、熊本の片田舎の一町一小中、一学年七十人、皆幼馴染。様々な事情あり個性ありの面々だったが、互いに認め合った仲間だった。いつわりの笑顔も、涙もなかった。ライバルもいたし初恋もした。勉強も生徒会も部活動も直向きに打ち込んだ。卒業の日が本気で辛くて何日も泣いた。そして、与えられた環境を、次は自分で作っていかねばならないと知った。

オリンピックの年に、同窓会をしている。絆は、時空を超え、あの狭くて小さくて特別な世界は、脈々と今の私に繋がっている。



広報部 雄峰171号編集 宮ヶ谷先生と 私たちが担当しました

- 1-3 吉井
- 1-4 中森
- 1-5 川崎
- 2-3 細山
- 3-4 富川

卒業記念品紹介

令和6年度卒業生の皆さんから、「凛・颯爽・澆刺」の書かれた看板が贈呈されました。校舎玄関に設置させていただきます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

これからの主な予定

- 新形式・始業式 4月7日(月)
- 入学式 4月8日(火)
- PTA総会・学級PTA 4月25日(金)
- 研究公開 5月16日(金)
- 開校記念一日遠足 5月23日(金)
- 授業参観・学年・学級PTA 7月上旬
- 前期前半終了 7月18日(金)
- 前期後半開始 8月20日(水)

※今後、予定変更の可能性あります。